

しずおか自治会マガジン

～全冊子紹介BOOK～

少しの工夫と

柔軟な発想で

自治会を楽しむ

本誌は、静岡市が自治会の皆さん向けに発行してきた冊子「しずおか自治会マガジン」の内容を見どころとともに分かりやすくまとめたものです。これまで、お問い合わせに応じて過去号をご案内する中で「こんな冊子があったとは知らなかった」という声を多く頂戴しており、より多くの方に知っていただく必要があると感じていました。本誌が少しでも、地域活動に携わる皆さまの情報収集のお役に立てば幸いです。

自治会・町内会で保存してご活用ください

※地域によって「自治会」又は「町内会」と呼ばれていますが、
本誌では紙面の都合上「自治会」という表記で統一いたします。

自治会マガジンとは

静岡市では、自治会活動を支援するため、
好事例や実践的なノウハウを紹介する「自治会マガジン」を
発行してきました。テーマを特集した本編と、実務に役立つ
付録のセットで構成しています。

2021

本編

コロナ禍の自治会活動

付録

引継ぎガイドBOOK



2023

本編

防災

付録

デジタル活用ガイドBOOK



2024

本編

担い手問題

付録

見直しガイドBOOK



本誌の使い方

- 1 悩みから探す — 自分の悩みに合ったマガジンを見つける
- 2 みんなで共有 — 関心のあるマガジンをみんなで共有する
- 3 一歩踏み出す — 話し合っ、できるところから実践してみる

あなたの悩みから探す

担い手問題や

若い世代の参画について
ヒントが知りたい

こんな悩みありませんか？

- 役員のなり手がいない
- 特定の人に負担が集中
- 若い世代が参加しない
- 女性役員が少ない

関心がある方は、**3 P**へ

01

自治会活動に

デジタル技術を活用したい

こんな悩みありませんか？

- 回覧板が回らない
- 連絡が遅れる
- 若い世代にも情報を届けたい
- デジタル技術を導入したい

関心がある方は、**4 P**へ

02

今の自治会活動を

見直し、効率化したい

こんな悩みありませんか？

- 会議が長い
- 慣例行事の見直しができない
- 活動の目的が分からない
- もっと効率よく活動したい

関心がある方は、**5 P**へ

03

自治会活動の引継ぎを

スムーズに行いたい

こんな悩みありませんか？

- 引継ぎ資料がない
- 引継ぎ方法が分からない
- 毎年同じことを説明
- 業務が属人化している

関心がある方は、**6 P**へ

04

01 担い手不足や若い世代の参画に悩んでいる

なにかヒントが欲しい！ 他の地域はどうしてる？



「役員のなり手がいない」という悩みを抱える自治会は少なくありません。日頃の人間関係づくり、業務の分散、活動の柔軟な変化。担い手を引き込むために様々な工夫をしている市内自治会の事例を紹介しています。

人間関係の積み重ねが自治会に人を巻き込む



「システムより人間関係」

輪番制や報酬などの仕組みも大切ですが、それ以上に日頃からの信頼関係が、担い手不足解消の鍵になるという実践例が広野町内会の事例です。特に、当時会長だった杉山貴勇さんの経験に基づく「人を巻き込む」ノウハウは、同じ課題を抱える他の自治会にとって参考になります。

広野町内会の事例は、「しずおか自治会マガジン～これからの自治会の担い手問題～」のP.2～3に掲載しています。



みんなが少しずつ作る自治会



「小さな工夫で、気楽さを感じれる体制へ」

二番町自治会は、役割を細分化させると共に、集金回数を集約、会議資料の事前共有などにより、業務を効率化・合理化させ、一人当たりの負担を軽くして、役員就任へのハードルを低くしています。二番町自治会の工夫や活動の雰囲気はこれからの自治会活動を考えるにあたり大変参考になります。

二番町自治会の事例は、「しずおか自治会マガジン～これからの自治会の担い手問題～」のP.4～5に掲載しています。



ここがポイント！

POINT 1 一人で抱えこまない、みんなで少しずつ

POINT 2 「昔からこうだから」にこだわらない

POINT 3 変化には時間がかかる、焦らず引き継ぐ

みんなで仕込んで、大事に育てる



興味がある方は
ぜひご一読ください！

しずおか自治会マガジン
「これからの自治会の担い手問題」
(PDF版) への二次元コードです。



02 自治会活動へのデジタル技術の活用



デジタル技術を使って負担軽減を目指す デジタルツールの導入、活用事例を掲載

電話連絡や紙の配付に負担を感じ、デジタル化で自治会活動を効率化したいと考えている役員向けのガイドブックです。情報共有ツールとして普及率の高いLINEアプリについて、基本操作からグループトーク機能、LINE公式アカウントの活用方法まで、スマートフォンの画面の画像付きで丁寧に解説しています。役員の負担軽減、若い世代の参加促進、災害時の安否確認にぜひお役立てください。

ここが一押し！「図解入り解説の安心感」

■グループトークへ友だちを招待する

招待されないと、グループトークには参加できません。友だちを招待したい場合には、友だちへの追加が必要です。グループに参加している全員が、参加してほしい人を招待できます。(招待したい友だちが一覧にいない場合は、3ページで紹介した「友だちを追加する」で友だちになってからグループへ招待する必要があります)

(1) 右上の「三」(メニュー)をタッチして、グループ設定を開きます。

(2) 上段の「&」(招待)をタッチすると「友だちを選択」が開きます

(3) 招待したい友だちをチェックして、グループトークに招待します。

デジタルツールに不慣れな方にとって、文字だけの説明では「どのボタンを押せばいいのか」が分かりにくく、不安で手が止まってしまう。実際の画面を表示しながら解説しているので、操作ミスへの不安が減り、「自分にもできそう」という自信につながります。

デジタルツールを自治会内で広めていきたいという役員さんの教える負担を減らすことができる冊子です。

「静岡市自治会・町内会デジタル活用ガイドBOOK」P.5 グループトーク編 一部抜粋

想定される活用シーン

活用シーン その1

役員向け

役員向けデジタル研修会

◎役員会でデジタルツールの導入を提案する際の手元資料として。
⇒図解入りで説明しやすく、役員間の話し合いをスムーズに進めるサポートをします。

活用シーン その2

住民向け

住民向けデジタル研修会

◎デジタルが苦手な住民の方へ教える際の教材・参考書として。
⇒わかりやすい構成で、教える役員の準備・説明の負担を軽減します。

自治会役員の実際の声

- ◎役員向けにデジタル研修会を開催したときに使用した。スマートフォンの操作が苦手な方が多くて、自分自身もそんなに得意じゃないから冊子があって助かった。
- ◎冊子を使って住民向けに操作を説明したら、口で伝えるより格段にわかってもらいやすかった。
- ◎冊子を使って、組長のグループを作ってみた。住民にも広めていきたい。



興味がある方は
ぜひご一読ください！

しずおか自治会マガジン
「静岡市自治会・町内会デジタル活用ガイドBOOK」
(PDF版)への二次元コードです。



03 今の自治会活動を見直し、効率化したい

活動の見直しが、自治会を守る 変える勇気と続ける工夫



会議が長い、行事がマンネリ化している、役員の負担が大きい——こうした自治会関係者の声をよく耳にします。「静岡市自治会・町内会活動見直しガイドBOOK」では、会議効率化のコツ、デジタルツール活用、行事の継続・簡素化・廃止の判断基準について、市内自治会の実践事例を交えながら解説しています。また、活動を客観的に評価できる「見直し表」の見本を掲載。行事を可視化することで、全体を俯瞰してみることができ、冷静な判断が可能になります。年度初めの計画策定や引継ぎ資料としても活用でき、持続可能な自治会運営の実現に役立つ1冊となっています。

この冊子でチャレンジしてほしいこと

- ☆見直し表で「大変さ」を見える化する
- ☆データをもとに、行事ごとに継続・簡素化・廃止を判断する
- ☆合意形成を大切に、見直しを一步ずつ着実に進める



見直し表のひな形用意してます！

地域活動の見直し表		団体名:	
令和	年度時点	令和	年度基準
4月		4月	
5月		5月	
6月		6月	
7月		7月	
8月		8月	
9月		9月	
10月		10月	
11月		11月	
12月		12月	
1月		1月	
2月		2月	
3月		3月	
備考		備考	

なぜ「見直し表」が必要なのか？

自治会の活動を見直したいと思っても、「何から手をつければいいのか分からない」「どの活動が本当に負担なのか曖昧」という状態では、具体的な改善になかなか踏み出せません。

こんな経験ありませんか？

「行事を減らしたいけど、どれを削ればいいのか判断できない」

「役員間で意見が割れ、感情的な議論になってしまう」
⇒こうした悩みの根本には、「何が負担で、何が必要か」が、数字や言葉としてまだ見えていないという共通の課題があります。

見直し表は、漠然とした「大変」を具体的なデータに変え、感情論ではなくデータと対話で判断できるツールです。

単に行事を減らすというものではありません。
本当に大切な活動を残しながら、みんなで納得して見直しを進めることができます。

「静岡市自治会・町内会活動見直しガイドBOOK」P.8

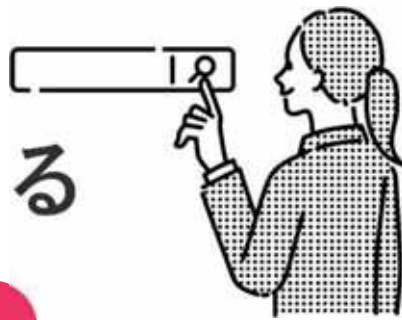


興味がある方は
ぜひご一読ください！

しずおか自治会マガジン
「静岡市自治会・町内会活動見直しガイドBOOK」
(PDF版)への二次元コードです。



他にはどんな冊子が あるのか気になる



過去の特集も要チェック！



「しずおか自治会マガジン 自治会・町内会 防災特集」

防災MAPの作成、LINEアプリを活用した訓練、要支援者への個別避難計画の整備など、市内6つの自治会によるリアルな取組事例を紹介しています。規模も方法もそれぞれ異なりますが、どの事例にも「自分たちの地域でもできそう」と感じるヒントが詰まっています。

ダウンロードは
こちらから



防災をきっかけに顔見知りが増え、地域のきずなが一歩深まる—
そんな好循環につなげてみませんか。



「しずおか自治会マガジン コロナ禍だからこそその自治会活動」

コロナ禍という未曾有の状況の中、感染対策を講じながら行事を継続した事例や、オンライン会議・デジタルツールの活用、三密を避けた新しい活動形式など、市内自治会のリアルな対応事例をまとめた一冊です。

ダウンロードは
こちらから



非接触型の回覧板や屋外での小規模イベント、動画配信による情報発信といったアイデアは、人手不足や役員の負担軽減が課題となる今の時代にもそのまま応用できるものばかりです。困難な状況で生まれた地域の知恵と工夫を、ぜひ現在の活動に活かしてください。

全冊子ダウンロード可能です！

静岡市ホームページ「自治会・町内会活動 好事例の紹介」
をぜひチェックしてください！

静岡市ホームページ



自治会活動のデジタル化を実証実験

“地域に住まう誰もが負担なく参加できる仕組み”に。
地域の負担軽減に向けて実証実験を実施しました！

◎実証実験はこうして始まった！

紙や電話を中心とした情報共有や回覧の配付・回収、手作業による集計は、自治会役員にとって大きな負担となっていました。

2024年、市主催の「知・地域共創コンテスト」でこの課題を提示したところ、民間企業からデジタルツールを活用した効率化の提案があり、審査を経て採択されました。6自治会の協力のもと実証実験を行い、市・企業・地域が一体となって効果を検証しました。



静岡市知・地域共創コンテストUNITE2024

協力企業 (株)グッドライフ GoodLife
自治会向けデジタルツール「ジチカン」の開発・提供
ジャパンベストレスキューシステム (株) JBR
地域の困りごと解決サービスの提案

協力自治会 (葵区) 桜町自治会、中藁科地区自治会連合会
(駿河区) 中原自治会、曲金六丁目自治会
(清水区) 折戸六区自治会、宮加三自治会

◎活用したデジタルツール「ジチカン」とは？

スマートフォンやパソコンから、●会員へのお知らせの配信●出欠確認●アンケート●会員情報の閲覧などができる自治会活動をサポートするツールです。役員間の連絡やイベント案内などで活用しました。



◎実証実験から分かったこと

実証実験を通じて、デジタルツールの活用は回覧や出欠確認などの事務作業の効率化につながり、自治会役員の負担軽減に一定の効果があることが確認できました。

一方で、継続的に活用するためには、ツールの導入だけでなく、地域の中で支え合いながら進めていく環境づくりが重要であることも分かりました。例えば、初回の登録をサポートする人がいることや、スマートフォンの使い方を学ぶ機会があること、役割を分担して運用することなど、無理なく続けることができる工夫が必要です。



中原自治会

自治会がシステム登録説明会を開催



桜町自治会

地元中学生がスマホ教室開催



折戸六区自治会

役割分担で無理のない体制構築

◎これからの取組

実証実験の結果を踏まえ、市では、自治会活動の中でデジタル活用が広がるよう、ご自身のデジタルの知識や経験を地域活動に生かしたいと考える方を、活動のデジタル化に関心のある自治会に派遣する事業に取り組みます。

地域に派遣された方が、自治会の皆さんと一緒に、取り組んでみたいデジタル活用について相談しながら、進め方や活用の工夫をお伝えします。この取組を通じて、自治会がデジタル活用に取り組むきっかけをつくり、地域の中でデジタルを担える人を少しずつ増やしていくことを目指します。



アンケートへのご協力をお願いします

冊子をお読みいただきありがとうございます。より良い自治会支援を行うために、みなさまのご意見をお聞かせください。右の二次元コードからお気軽にご回答ください。所要時間は約3分です。なお、回答はすべて統計的に処理され、個人が特定されることはありません。

しずおか自治会マガジン
読者アンケートへの回答
はこちらから！



令和8年3月発行
静岡市 市民自治推進課
〒420-8602
静岡市葵区追手町5番1号
TEL: 054-221-1265